

## 安心して暮らせる街づくりのための提言

### 1. 女の子や若い女性が安心して暮らせる環境を整えてください

・道端での犯罪や痴漢、ストーカー行為などの嫌がらせを減らすために、防犯カメラや街灯の設置を積極的に増やし、女の子や若い女性が夜でも安心して歩けるような整備を進めてください。

### 2. 日常の危険性に関する男女への意識啓発を進めてください

・社会全体が女の子や若い女性の身の回りの危険について意識を持てるよう働きかけ、被害を未然に防ぐ啓発を行ってください。  
・女の子や若い女性に対し、身近に潜む危険への危機意識を持つよう呼びかけ、デート DV などのさまざまな被害の周知を広げてください。  
・若者や大人ひとりひとりがジェンダー平等や性について学ぶ機会を作り、ハラスメントが起きないように啓発をしてください。

### 3. 被害者とその周囲へのサポートを推進してください

・性犯罪の被害を生まない・あわないための講習やトレーニングを受ける機会を増やしてください。  
・学校などの教育機関に専門性を持つ職員を配置するなど、若者が気軽に相談できるようなセーフティネットを拡充させてください。  
・被害を受けた人物に対して周囲の大人や若者ができる適切な対応方法を広め、被害者が十分なサポートを受けられるようにしてください。

### 4. SNS などでの嫌がらせに対する対応の強化を

・現在は SNS による新しいケースの被害が増えています。若者が SNS 上で安全に発信ができるように、SNS を介した嫌がらせに対して対策を強化してください。  
・SNS の使い方や正しい知識を男女ともに学べるような機会を、教育機関と連携して取り組んでください。

### 5. さまざまな危険を取り締まる法律や政策の整備を

・多くの女の子や若い女性は公共機関における痴漢や盗撮の危険にさらされています。またナンパや JK ビジネスなど性的な言葉で不快感を与える行為も多発しています。こうした被害に対する刑罰・規制を強化してください。  
・学校や塾などの教育機関の場で起きる危険に対しても、法律や政策で対策ができるようにしてください。

### 6. 若者の声を取り入れた制度を充実させてください

・性的な被害にあう被害者は 10～20 代の若者が 7 割以上を占めており、若者の被害に対しての対策をしていく必要があります。被害の実態を知る若者の声を聞き、政策や計画づくりに反映させていくようにしてください。